



セブン & アイグループの SDGs貢献に向けた取組み

～地球にやさしく、暮らしに便利～

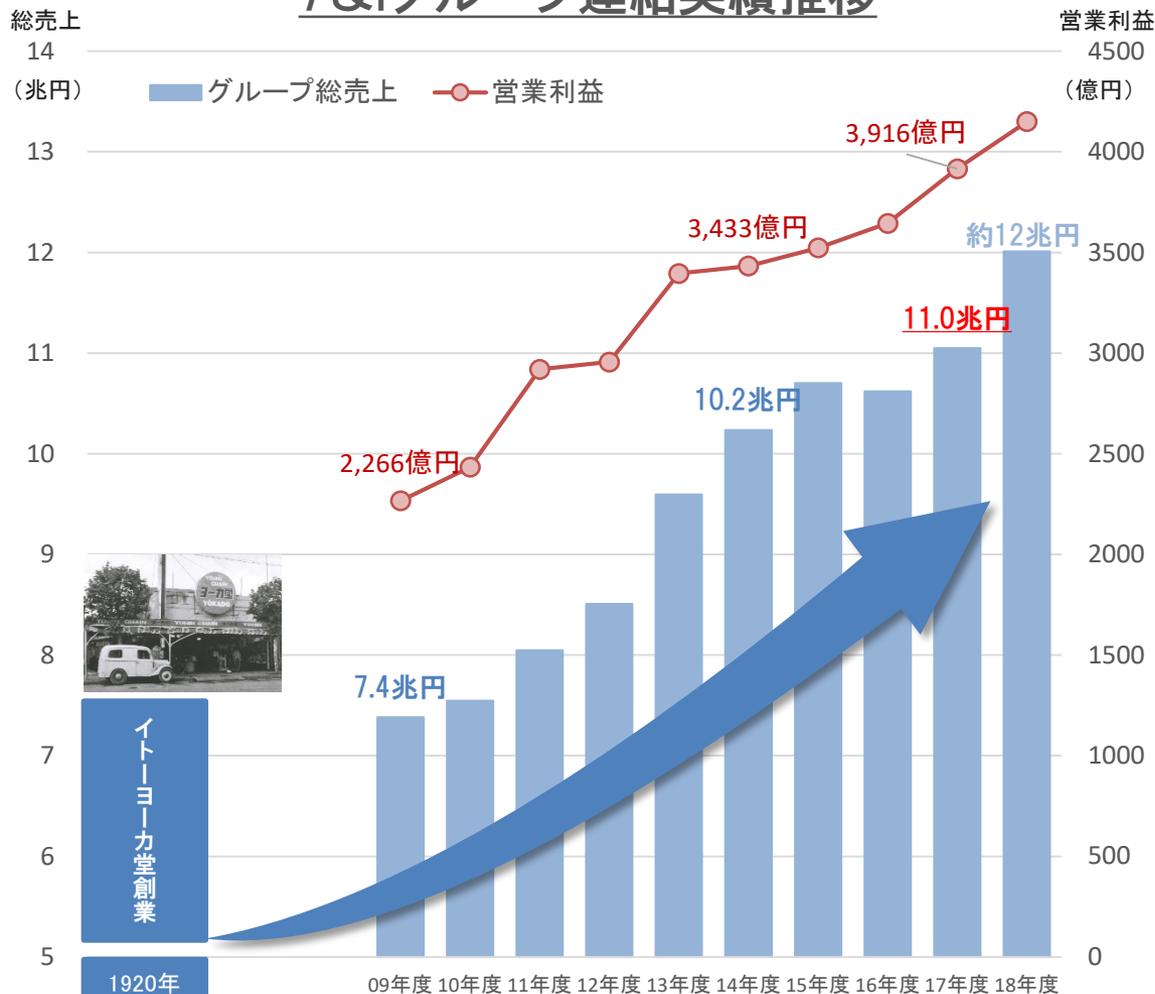
2019年3月20日(水)

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

代表取締役社長 井 阪 隆 一

セブン&アイグループの沿革

7&iグループ連結実績推移



7&iグループ(国内)

店舗ネットワーク(*1) **約21,850店**
 1日当たり来店客数(*2) **約2,300万人**

(*1)2018年5月末現在、(*2)2018年2月期実績

◆セグメント別業績(2017年度)

セグメント	売上	営業利益
連結営業利益	11.04兆円	3,916億円
国内コンビニエンスストア 	4.67兆円	2,452億円
海外コンビニエンスストア 	3.13兆円	790億円
スーパーストア 	1.90兆円	212億円
百貨店 	0.65兆円	53億円
金融関連 	0.20兆円	497億円
専門店 	0.41兆円	4.3億円
その他	0.02兆円	36億円

様々な社会課題に対応し、豊かな社会作りに貢献しながら7&iグループは大きく成長

セブン&アイグループの環境への影響度(外部不経済、24時間営業について)

成長と発展の一方で、環境負荷(外部不経済)を発生させてきた

分野	セブン&アイグループの影響度(国内)	
CO2排出量	243万ト _ン (2017年度) <small>〔店舗運営に伴うCO2排出量〕</small>	⇒国内企業で 38位
プラスチック	5.4万ト _ン (2017年度) <small>〔グループのプラスチック使用量〕</small>	⇒国内で 1.02% のシェア
フードロス	12.8万ト _ン (2015年度) <small>〔グループの食品廃棄量〕</small>	⇒国内で 0.63% のシェア

これらの環境負荷(外部不経済)に対し、グループとして正面から向き合っていく

セブン-イレブンの「24時間営業」について

- 加盟店業務を代行する本部支援制度を充実
- 店舗の生産性向上のための「省人化プロジェクト」を推進
- 店舗における夜間一時休業の実証実験を開始

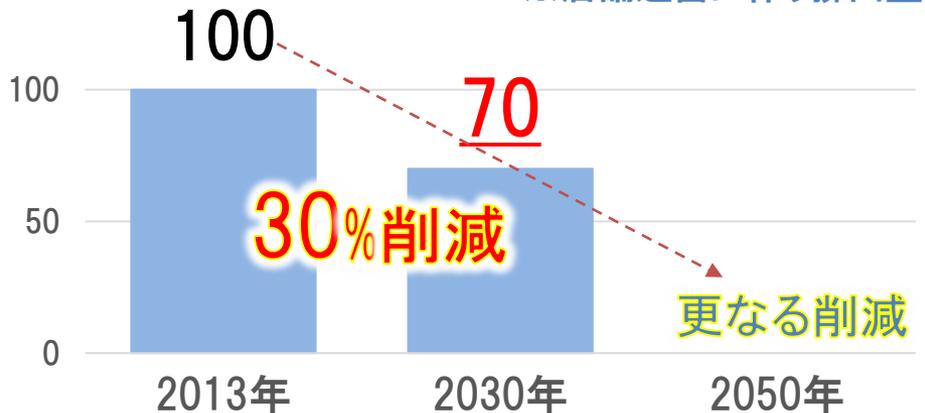
社会構造や価値観の変化に柔軟に対応していく

セブン&アイの環境宣言(取組みテーマと目標)

◆7&iの環境負荷低減に向けての取組み

CO2排出量

※店舗運営に伴う排出量



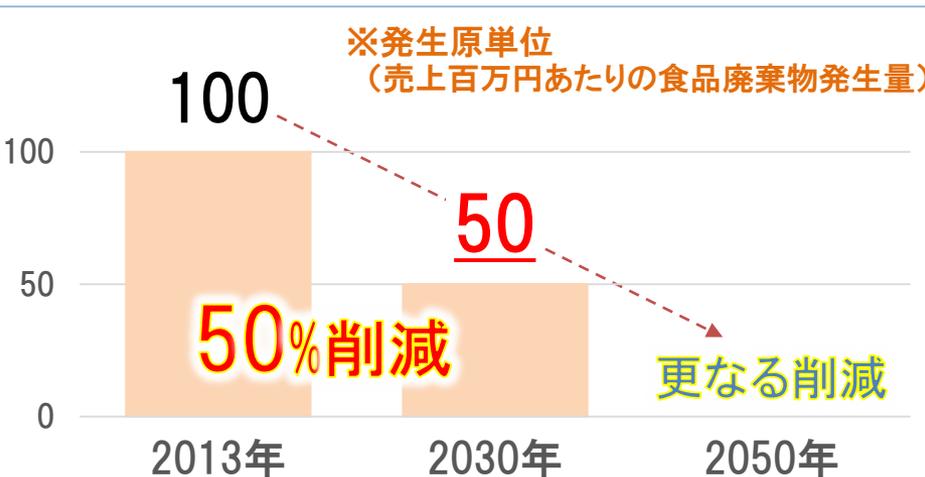
プラスチック対策

※プラスチック製レジ袋使用量



フードロス

※発生原単位
(売上百万円あたりの食品廃棄物発生量)



2030年目標達成を目指しつつも、
更なる長期的な目指す姿を検討中

お客様や地域社会、自治体との連携を
深めながら取組みを推進していきたい

2030年目標を実現するための取組み

【CO2排出量】 CO2排出量30%削減(※) * 店舗運営に伴う排出量(2013年度比)

2017年までの取組み

【実績】 **7%削減済** (2013年度比)

◆主要な取組み

<p>■LED照明の導入</p> 	<p>SEJ 約9割の店舗に導入済(18年2末) IY 全店導入済(18年2末)</p>
<p>■太陽光パネルの設置</p> 	<p>SEJ 約4割の店舗に設置済(18年2月) IY 約1割の店舗に設置済(18年2月)</p>
<p>■環境対応トラックの活用(物流)</p> 	<p>SEJ HVなど環境対応車984台運行 (全車両の16.3% /19年1月)</p>
<p>■蓄電池の活用(再生エネルギー)</p> 	<p>SEJ 太陽光発電パネル+蓄電池で 店舗で使用する電力の46%実現 (相模原橋本台1丁目店/18年5月開店)</p>

2030年に向けて

【目標】 **30%削減** (2013年度比)

◆今後のその他の取組み(一例)

<p>■店内正圧化</p> 	<p>SEJ クリーンルームの技術をCVS用に応用 ⇒店内気圧を正圧化する事で外気や埃などの流入を阻止 ※電気使用量 ⇒ 約4%の削減効果 ※現在6店舗で実証実験中 ⇒効果確認後、早期に拡大を計画</p>
<p>■環境対応トラックの活用拡大</p> 	<p>SEJ 天然ガス、HVに加え、EVTトラック、水素トラックを導入 ※環境対応車の割合を 20年に20%、25年に30%超を計画</p>
<p>■蓄電池の更なる活用(再生エネルギー)</p> 	<p>SEJ 日産と連携し、EV車(リーフ)の中古車バッテリーを活用 ※24台分で1店舗に必要な400kwhの電源確保</p>

上記以外にも、省エネ対策、再生可能エネルギー調達等の取組みを推進

2030年目標を実現するための取組み

【プラスチック対策】 プラスチック製レジ袋使用量50%削減 (2013年度比)

プラスチック製レジ袋削減の取組み

■ イトーヨーカドー・ヨークベニマルでの取組み

・2012年よりレジ袋有料化を実施済み

⇒食品売場でのレジ袋辞退率 : **71.6%**(17年度)

■ セブン-イレブンでの取組み

・レジ袋削減に向けての実証実験(予定)

① **紙製レジ袋を試験導入**(19年4月より、神奈川地区で実施)

② **新素材活用**の検討
(生分解性素材、竹、葦など)



レジ袋の有料化については、法制化に沿って、速やかに実施していく

2030年目標を実現するための取組み

【フードロス対策】 フードロス 50%削減

※発生原単位
(売上百万円当たり食品廃棄量/2013年度比)

大きな社会構造変化
(高齢化・世帯人数減少・共働き世帯増加)

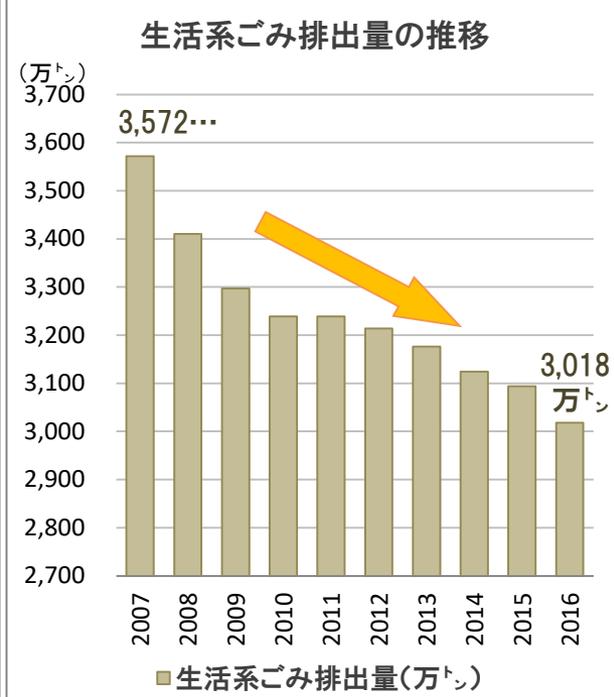
食の外部化ニーズに対応し、
差別化された中食を提供



[出典]人口統計資料集(国立社会保障・人口問題研究所)



[出典]惣菜白書(日本惣菜協会)
長期労働統計(労働政策研究・研修機構)



[出典]一般廃棄物の排出及び処理状況等(環境省)

高齢化・世帯人数が減少する一方で、共働き世帯が増加

中食市場の拡大に伴い生活系ゴミは減少

2030年目標を実現するための取組み

【フードロス対策】 フードロス 50%削減

※発生原単位
(売上百万円当たり食品廃棄量/2013年度比)

◆商品の長鮮度化(一例)

【7プレミアム】 2008年発売
販売鮮度



(従来) 約2日
↓
(変更後) 約2週間

【チルド弁当】 2009年発売
販売鮮度



(従来) 約1日
↓
(変更後) 約3日半

【惣菜(テトラパック)】 2010年
販売鮮度



(従来) 約1日半
↓
(変更後) 約3日

【スパゲティー】 2011年
販売鮮度



(従来) 約1日半
↓
(変更後) 約2日半

【サラダ】 2018年
販売鮮度



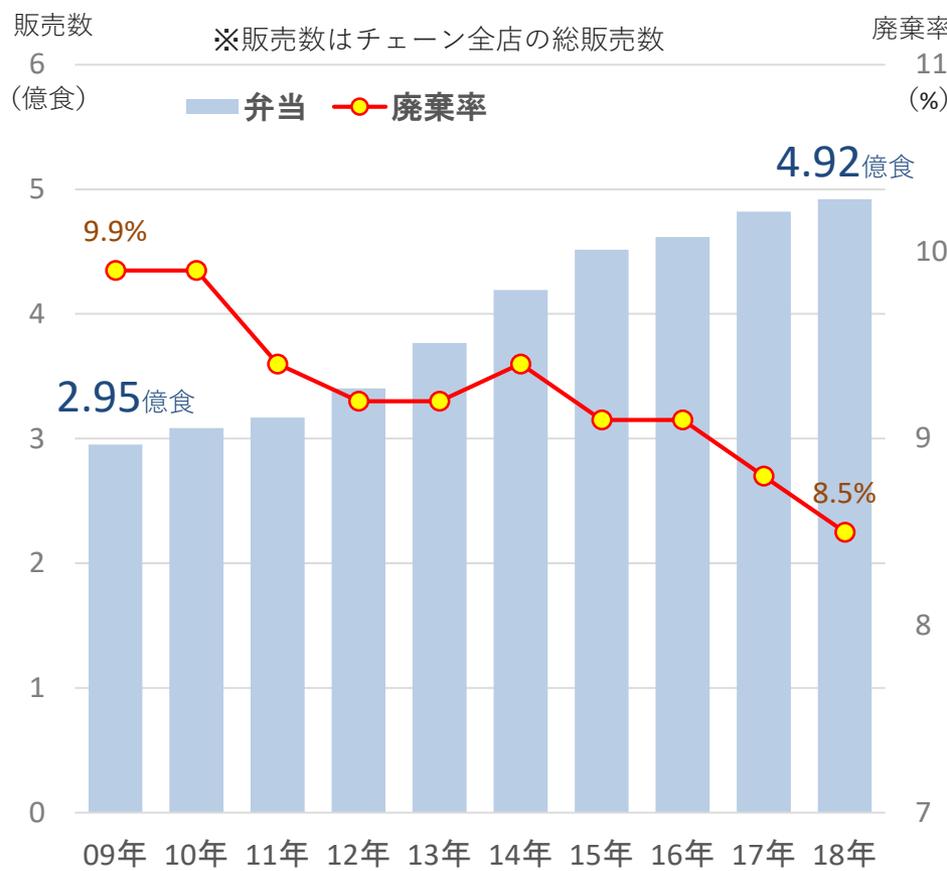
(従来) 約1日半
↓
(変更後) 約2日半

【惣菜(中華系)】 2018年
販売鮮度



(従来) 約1日半
↓
(変更後) 約2日半

◆長鮮度商品による廃棄率削減事例(弁当)



イノベーションの継続により、添加物に頼らず、味を犠牲にしないで長鮮度商品を拡充

2030年目標を実現するための取組み

【フードロス対策】 フードロス 50%削減

※発生原単位
(売上百万円当たり食品廃棄量/2013年度比)

野菜工場によるフードロスと水資源削減の取組み

■野菜工場

・2019年1月に神奈川県相模原市にて稼働開始

※1日あたり収穫量(2020年以降)

⇒ **約3トン**(サラダ約7万食分に相当)
 <国内で最大級の規模>

■特徴

○歩留まりの大幅改善によるフードロス削減

・露地栽培歩留り**60%** ⇒ 野菜工場歩留り**90%**
 (廃棄量は約**75%**削減)

○その他の効果

・水資源使用量の削減

⇒約**9割減**

・**無農薬栽培**が可能(安全・安心)

・虫などの異物混入の選別不要(**作業生産性向上**)

・天候に左右されない**安定収穫**



上記以外にも、加工食品の「1/3ルール」の見直しなど、
3Rを行いながら目標達成に向けて取組みを強化

社会・生活課題解決に向けた取組み

7&iグループ各社の事業領域に親和性の高い社会課題5つを選定し、取組みを推進

重点課題1

高齢化、人口減少時代の
社会インフラの提供



(主な取組み)

- ・ネットコンビニ
- ・ネットスーパー、IYフレッシュ
- ・行政サービス(各種証明書発行)

重点課題2

商品や店舗を通じた
安全・安心の提供



- ・食品添加物の低減
- ・減塩・低カロリーなどの商品開発
- ・野菜工場の取組み

重点課題3

商品、原材料、エネルギーの
ムダのない利用



- ・食品廃棄物の削減、長鮮度化
- ・フードバンクへの寄付
- ・ペットボトル自動回収機
- ・セブンプレミアム環境配慮型容器

重点課題4

社内外の女性、若者、
高齢者の活躍支援



- ・セブンなないろ保育園
- ・時差出勤(スライドワーク)制度の導入
- ・子育て支援イベントの開催

重点課題5

お客様、お取引先を巻き込んだ
エシカルな社会づくりと資源の
持続可能性向上



- ・お取引先CSR監査
- ・「セブンの森」森林保全プロジェクト
- ・内部通報制度(お取引先)

「社会課題解決」と「企業価値向上」の両立を図り、社会になくてはならない企業を目指す

具体的な取組み事例(重点課題1)

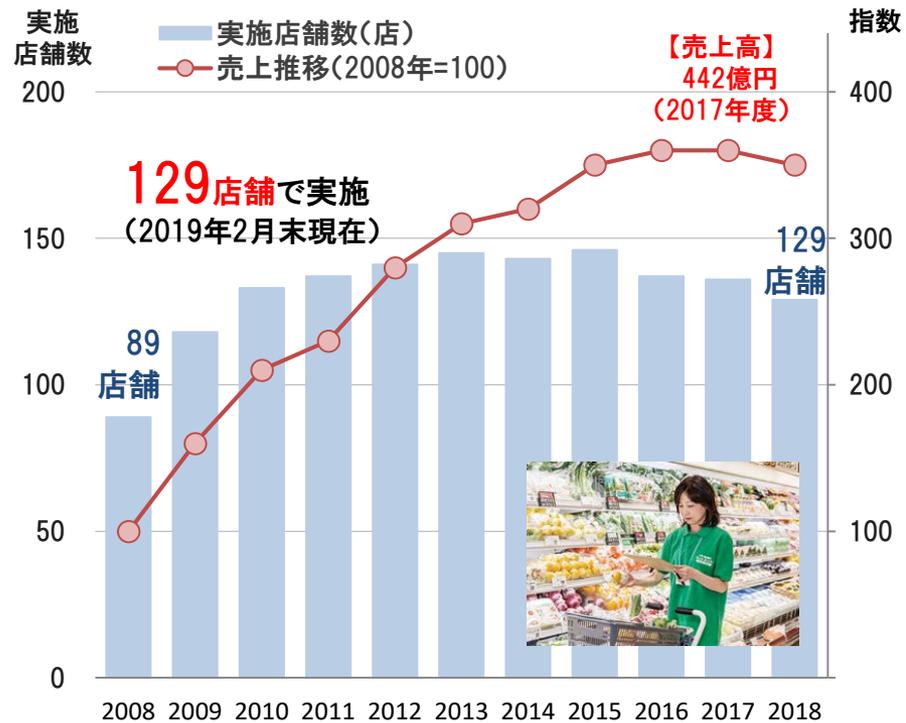
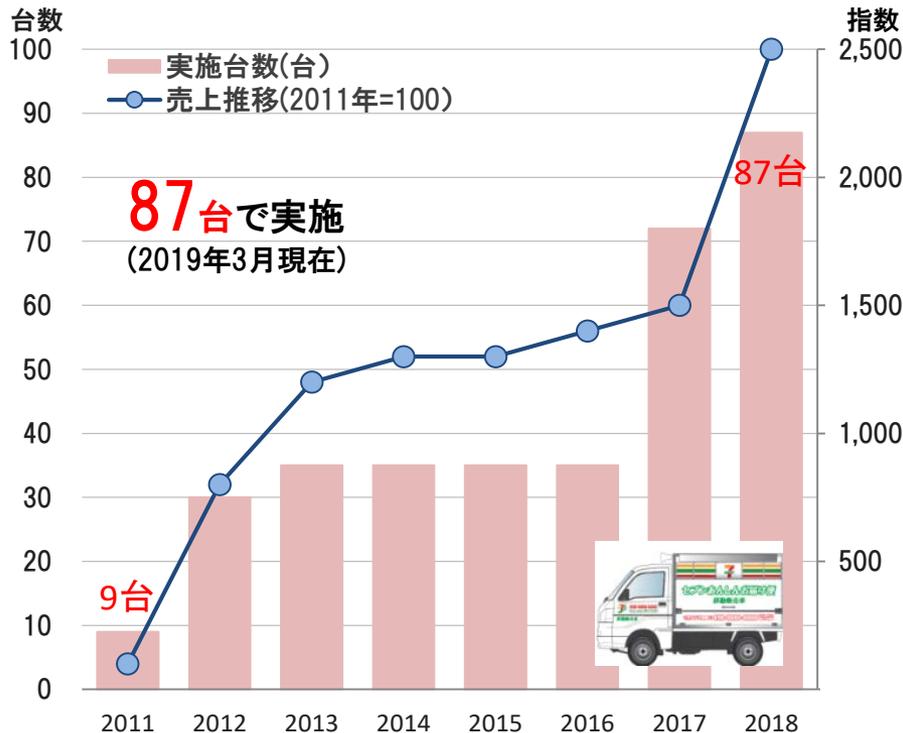
重点課題1 高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供



店舗網や物流・情報システムを活用した「お買物支援」サービスの創出

■セブン-イレブン「移動販売車」の展開状況

■イトーヨーカドー「ネットスーパー」の展開状況



上記の他にも、ネットコンビニやIYフレッシュなどお届けサービスを拡充しながら対応

具体的な取組み事例(重点課題2)

重点課題2 商品や店舗を通じた安全・安心の提供

3 すべての人に健康と福祉を



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



13 気候変動に具体的な対策を



食品添加物の使用低減の取組み



1999年～
イーストフード
乳化剤
不使用

2001年～
保存料
不使用

2001年～
合成着色料
不使用

2006年～
トランス
脂肪酸低減

2006年～
リン酸塩
不使用

調理パン
オリジナルパン
食パンのパン

「弁当」「おにぎり」「惣菜」「パン」「デザート」など
オリジナルデイリー商品

具材に
使用する
ハム・ソーセージ

添加物に頼らず、味を犠牲にしないで美味しさを実現する商品開発を追求

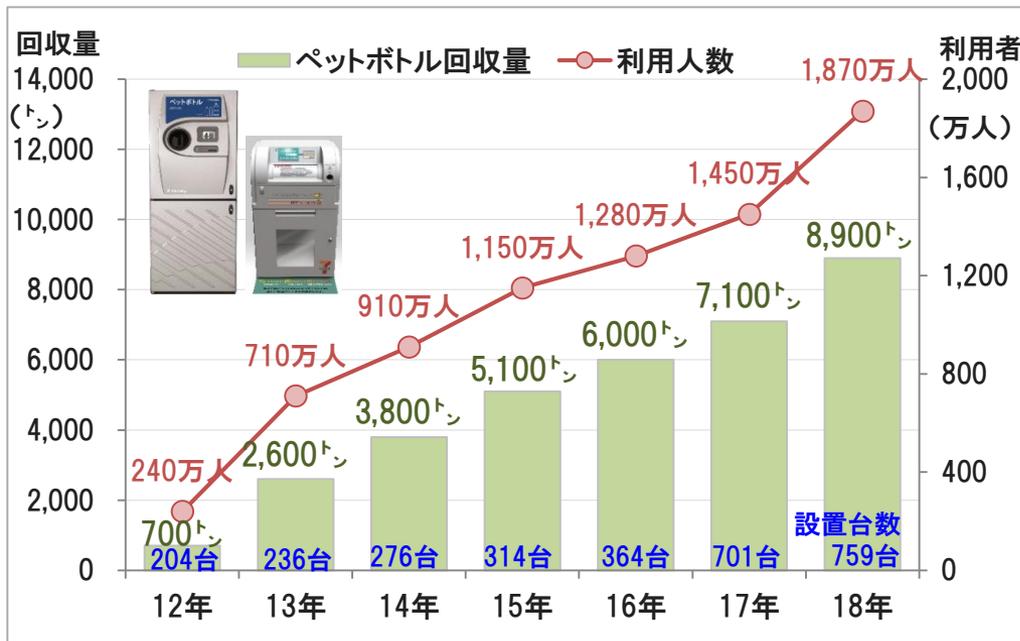
具体的な取組み事例(重点課題3)

重点課題3 商品、原材料、エネルギーのムダのない利用



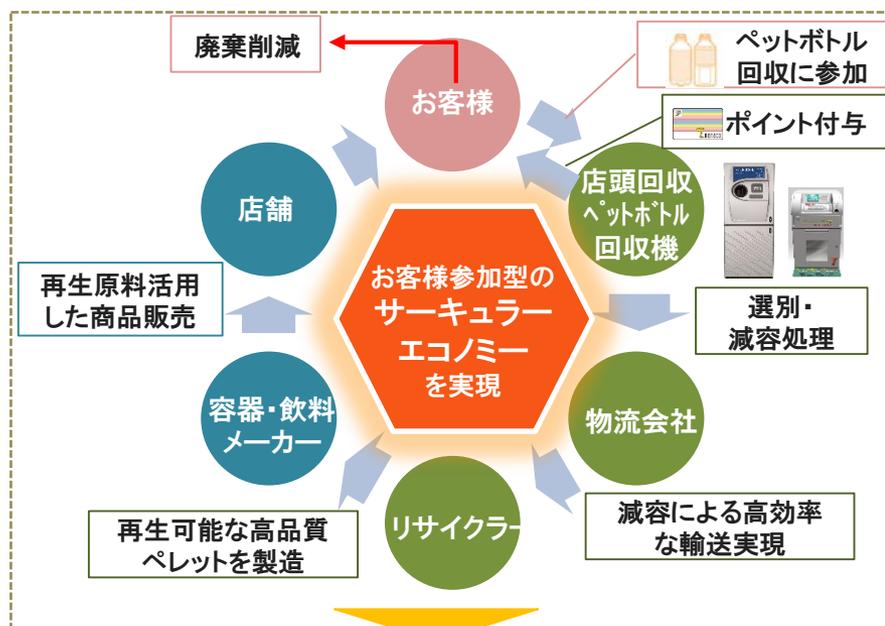
地域のお客様と連携した社会活動、リサイクルの取組み

■ペットボトル回収機による ペットボトル回収量及び利用者数



18年度 **8,900ト**、約**3億本**のペットボトルを回収
 (国内ペットボトル販売本数の約**1%**に相当)

■サーキュラーエコノミー



7プレミアム商品のリサイクルペット材として使用



商品名:7プレミアム ー(はじめ)緑茶

7プレミアム初のリサイクルペットボトル商品として
 19年度上期に全国発売予定



セブン-イレブン グローバルパートナーシップの取組み

3月28日(木)に世界17ヵ国・地域のセブン-イレブンの各ライセンシー企業が東京に集結し
セブン-イレブン・インターナショナルサミットを開催

サミットのテーマの一つにSDGsの取組みを掲げ、
全ライセンシーの署名による「SDGsの取組み宣言」を締結予定

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

